（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot久留米中央			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34名	（回答者数）	20名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　12月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	防犯の為インターホンの使用をしている。	保護者の方から不安の声などがあったため不審者対策なども考慮しインターホンを設置している。 保護者の方には設置前にお話をしてから安心して預けられるように工夫している。	玄関を上がって直ぐに別階段があり登りたくなる利用者も多い為、パーテーションなどで工夫して対応をしていく。
2	利用者の年齢層が広いため様々な年齢の子と関わることができる。	活動の中で、いろんな年齢の子との関りができることを意識したり、利用者に併せて公共交通機関の使用や公園・クッキングなどの活動を考えたりしている。	利用者の思いだけでなく保護者の思いもしっかりと聞いていきながら、特性や年齢にあった活動を現在よりももっと良いものにしていく。
3	家までの送迎を基本していないため、事業所で過ごす時間が長く、保護者の方ともゆっくりと話すことができる。	事業所で過ごす時間が長い為、一人ひとりに合った関りを長い時間とることができている。 その中で子どもたちが楽しく学べることを意識して行っている。 1日の様子はお迎えの際に保護者にしっかりと伝えることが出来ている。	保護者の方や学校などの関係機関とも密になって共有していきながら一人ひとりにあった支援を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	机のサイズが大きいものか小さいものしかない。 小さいものは大きさを調整できるが限られている。	2年生や3年生になってくると低い机は小さすぎてしまい、大きい高い机だと大きすぎてしまう。	どの学年の子でも合う机をいくつか検討していき購入を考えていく。
2	運動メニューなどの偏りがある。	運動メニューの偏りや特性に合わせた支援の偏りが見られる可能性がある。	社内の様々な職種の専門的なスタッフに助言をもらいながら運動メニューや支援を考えていく。 専門的スタッフの育成や巡回を検討していく。
3			